

題字 故前田和二郎名誉教授
発行所 東京都新宿区信濃町35
慶應義塾大学医学部
外科学教室同窓会(刀林会)
発行人 松本純夫

刀林会理事長就任のご挨拶



刀林会理事長
東京医療センター名誉院長
松本 純夫 (52回)

2019年5月21日逝去された北島政樹前理事長は「一般社団法人登記完了について」の原稿を刀林新聞第113号巻頭に残されま

した。2020年はわが外科学教室が創立100周年を迎える節目の年であり、かつ北川雄光主任教授が第120回日本外科学会を主

宰する記念すべき年であり、誰よりもその年を迎えることを楽しみにされていた北島政樹先生を喪ったことは同窓会一同痛恨の極み

です。昭和15年12月15日に創設された慶應義塾大学医学部外科学教室同窓会(刀林会)は令和元年2月15日の登記

により信頼性の高い組織として社会から認識されるようになり、契約や銀行口座の開設することができるようになりました。年会費や寄付金には課税されませんが収益事業については法人税が課されることになりま

す。しかし事業の裁量範囲が広がり、教育・研究・広報活動については会員の学会支援募金活動や教室支援ばかりでなく社会貢献活動

が出来る組織として活動分野を拡大できるようにあります。

6月22日の外科学教室葬に続いて開かれた刀林会新理事会において、次期理事長に選任されたことに躊躇を感じましたが、北島前理事長の元で務めた将来構想委員会では委員長として進

めた法人組織への改組であり、その理念を完成する責務も感じお引き受けする決心をしました。これらの記念すべき行事を北島政樹先生と共に迎えることが出来ないのが大変残念ですが、韓国延世大学と2019年6月22日同窓会総会当日に締結した覚書を遵守し、さらなる国際展開も視野に入れつつ教室創立100周年と日本外科学会担当の二つの事業について同窓会組織を挙げて支援してまいります。また歴史ある慶應義塾大学医学部外科学教室同窓会組織を一体化

理事・監事

氏名	回生
吉野 肇一	44
市来 奇 潔	48
河瀬 斌	49
松本 純夫	52
島津 元秀	53
窪地 淳	58
小澤 壮治	60
菅 貞郎	61
黒田 達夫	61
浅村 尚生	62
北川 雄光	65
志水 秀行	65
澤藤 誠	67
石井 良幸	70
川久保 博文	73
下島 直樹	76
半田 寛	80
和田 剛幸	84
竹内 優志	91
水野 翔大	94
熊井 浩一郎	46
尾原 秀明	72

教室100周年記念事業について



慶應義塾大学医学部
外科(一般・消化器) 教授
慶應義塾大学病院 病院長
北川 雄光 (65回)

済生会芝病院(現済生会中央病院) 外科医長であった茂木蔵之助初代教授を中心に外科学教室が8人体制で発足したのは1920年(大正9年)6月7日とのことでした。2020年、慶應義塾大学病院とともに我が外科学教室は創設100周年を迎えます。この記念すべき節目を皆様とともに分かち合うために、私たち外科学教室および刀林会は、教室100周年記念事業を計画し準備を始めてまいりました。本事業は、100周年記念シンポジウム・記念祝賀会の開催と100周年記念誌の発刊の二つを柱としています。

100周年記念シンポジウム・記念祝賀会は、例年刀林会総会を行っている6月第3土曜日(2020年は6月20日)に今年新館が完成したホテルオークラ東京で行うことを予定しています。記念シンポジウムでは、教室の現役教授が100年の歴史を振り返りながら未来の教室の抱負を語るとともに、外科学会理事長森正樹先生に外科学の将来に向けた特別講演をお願いしております。記念

シンポジウム後の祝賀会は、新・平安の間に内外の来賓をお迎えして開催する予定です。2000年5月27日に教室創設80周年を記念して80周年記念祝賀会が盛大に開催されたのを記憶の先生も多くと存じます。100周年記念祝賀会も、刀林会の諸先生の記憶に残る100周年の節目に相応しい会にすべく準備を進めております。多くの皆様にご参加を賜りたく何卒よろしくお願ひ申し上げます。

100周年記念誌は、私共外科学教室が主催する4月の第120回日本外科学会定期学術集会、6月の100周年記念シンポジウム・記念祝賀会を終えたのちに、これらの内容も含めて2020年12月までに発刊すべく編集を進めております。本誌では、教室各部門の学術的な歩みに加えて、歴代教室幹事が振り返る教室の歴史、女性外科医の未来、若手医師が描く外科医の理想像などのテーマに焦点を当てた複数の座談会を行い掲載する予定です。また、100年の歴史を正確に振り返ることが出来るよう、2017年編纂の医学部100年誌の資料をさらに充実させ、各診療科各部門の詳細な歴史を編纂してまいります。現在の会員だけでなく、50年100年先の刀林会員へ重要なメッセージが伝わるような内容とすべく、篠田昌宏准教授(73回、一般・消化器)を中心に編集委員一同が懸命に作業を進めてまいります。

平成30年度財産目録

Table with columns: 科目, 金額, 増減. Lists assets and liabilities for the fiscal year 2018.

平成30年度貸借対照表

Table with columns: 科目, 当年度, 前年度, 増減. Shows balance sheet for 2018.

平成30年度収支計算書総括表

Table with columns: 科目, 総合, 一般会計, 学芸支援準備金, 刀林基金. Shows income and expense summary for 2018.

平成30年度 決算報告

平成30年度貸借対照表

Table with columns: 科目, 当年度, 引継金額, 増減. Shows balance sheet for 2019.

平成30年度収支計算書総括表

Table with columns: 科目, 総合, 一般会計, 学芸支援準備金, 刀林基金. Shows income and expense summary for 2019.

平成30年度刀林会会計監査報告

(平成30年4月1日から平成31年2月15日まで)

平成30年度 刀林会 収支決算報告書、財産目録に記載された内
容及び金額は記載の通り相違ありません。

令和元年 6月14日

慶應義塾大学医学部外科学教室同窓会(刀林会)

監事 尾藤暢敏

監事 尾原秀明

平成30年度財産目録

Table with columns: 科目, 金額, 増減. Shows assets and liabilities for 2018.

平成30年度

一般社団法人慶應義塾大学医学部外科学教室同窓会(刀林会)

会計監査報告

(平成31年2月15日から平成31年3月31日まで)

平成30年度 一般社団法人慶應義塾大学医学部外科学教室同窓会
(刀林会) 収支決算報告書、財産目録に記載された内容及び金額
は記載の通り相違ありません。

令和元年 6月14日

一般社団法人慶應義塾大学医学部外科学教室同窓会(刀林会)

監事 尾藤暢敏

監事 尾原秀明

第3号議案 学芸支援募
金活動承認の件
議長の指名により、
第75回日本大腸肛門病
学会学術集会(61回)が、
澤村宣之(61回)が、
同集会の内容を説明す
るとともに、前田耕太
郎会長が会長を務める
ISUCRSが同時開催す
ることを説明した。議
長が、両学術集会につ
いて、令和元年度の学
会支援募金の対象とす
ることを議場に諮った
ところ、満場異議なく
これに賛成し、原案通
り承認可決した。

第4号議案 新入会員の
件

議長より、以下の各
氏より、当会入会希望
があったことの報告が
あり、各々挨拶がなさ
れた。



北川外科学教室主任。刀林会副理事長



幕内刀林賞選考委員会 委員長



小澤財務委員会 委員長



尾原外科学教室幹事。刀林会監事



新入会者



川村刀林新聞編集委員会 委員長



宮島第75回日本大腸肛門病学会会長



前田 ISUCRS 会長



厚生労働省健康局長 宇都宮 啓君 (65回)
「がんゲノム医療の推進」



北島名誉理事長業績を偲んで
北川外科学教室主任。刀林会副理事長

予算案承認の件
議長の指名により、
財務委員長の小澤理事
が、令和元年度予算案
を説明した。議長が、
議長がこれを議場に諮
ったところ、満場異
議なくこれに賛成し、
原案通り承認可決し
た。

立小児総合医療セン
ター(欠席) 慶
秋山 章(88回相) 慶
呼吸器外科
奥村 武弘君(69回相)
埼玉メディカルセン
ター
議長が、上記の各氏
が当会に入会すること
を承認する旨を議場に
諮ったところ、満場異
議なくこれに賛成し、
原案通り承認可決し
た。

議長は、以上をもって本
日の議事は終了した旨を述
べ、午後4時00分閉会を宣
し、解散した。
以上の決議を明確にする
ため、この議事録を作成し、
議長及び議事録署名人2名
がこれに記名押印する。
令和元年6月22日

議長 代表理事 松本純夫
議事録署名人 窪地 淳
議事録署名人 岡林剛史
議長 代表理事 松本純夫
議事録署名人 窪地 淳
議事録署名人 岡林剛史

1. 報告事項
①平成30年度同窓会年間
報告(理事長)
②平成30年度教室年間報
告(北川教室主任)
③委員会報告
・刀林賞選考会(幕内委
員長)
・刀林新聞編集委員会
(川村委員長)
④平成30年度決算(小澤
財務委員長・尾原監事)
⑤令和元年度事業計画
(松本理事長)
⑥令和元年度予算(松本

2. 学芸支援募金(理事長)
第75回大腸肛門病学会
学術集会(会長 聖マリ
アンナ医科大学聖マリア
病院 宮島伸宜61回)
The 30th Biennial
Congress of ISUCRS2020
(会長 藤田医科大学国
際医療センター教授 前
田耕太郎58回)
総予算1億2千万円の
うち1千万円の支援要
請、各会長よりご挨拶が
あった

3. 刀林表彰(理事長)
刀林賞政井恭兵(85相)
慶應義塾大学医学部外科
(呼吸器)

4. 平成30年度新入会者報
告(岡林専修医担当主任
相田8名、94回生1名新
入会者一般・消化器3名、
心臓血管外科3名、呼吸
器外科1名の紹介があ
り、各自、自己紹介
5. 韓国延世大学外科同窓
会(世刀會)との交流事
業について(八木国際委
員長77回)
韓国延世大学外科同窓
会紹介(理事長)があり、
その後調印式が行われ
た。
講演会
①司会・松本理事長
厚生労働省健康局長 宇
都宮啓君(65回) 演題:
「がんゲノム医療の推進」
②北島名誉理事長業績を
偲んで 北川雄光 外科
学教室主任・副理事長
以上で令和元年刀林会全
員集会を終了した。その後
アスコットで懇親会が開
かれた。



去る2019年5月21日に刀林会理事長である北島政樹先生(45回)が逝去され、深い悲しみに包まれる中、ホテルオークラ・アスコットホールIIで例年通り刀林会会員懇親会が開催されました。

巻頭の写真にもありますように、懇親会に先立ち同ホールにて193名の参加会員全員で集合写真の撮影



を行いました。写真撮影はここ数年の恒例であり、診療科の分け隔てなく非常に多くの先生方が一堂に会する様子は、刀林会の強いつながりを確認できる非常に良い機会となっております。会員の結束は北島先生

のまさに望むところであり、今後も続けて参りたいと思っております。懇親会の開催に先立ち、

松本純夫刀林会理事長から北島先生を偲び、今後の刀林会の結束を呼び掛けるご挨拶をいただきました。次に献杯のご挨拶を比企能樹先生(37回)におつとめいただきました。比企先生の悲しみを和らげる明るく力強いお言葉に、会員一同大きな勇気をいただき、いよいよ懇親会の開催となりました。

その後は、立食形式でご歓談の時間となりました。北島先生を偲び、今後の刀林会と同様に和やかな雰囲気の中、同期や出張先の恩師との再会を懐かしみ話がつまむ様子や、世代や診療科を越えた交流が会場内をたどるところで見られました。会の途中、北島先生のご発案で始まった国際交流の一環として韓国・延世大学からお招きしたMyung-soon Sung-shoon 教授から北島先生へのメッセージをいただき、北島先生の優しい人柄と世界的な功績を改めて感じると世界の大変貴重な機会となりました。その後、掛川輝夫先生(33回)よりご挨拶いただき、心にしみる暖かなお言葉をいただきました。恒例の懇親会の締めとして、加藤悠人君(92回)のスピーチにより、「若き血」を全員で力強く斉唱し、会場は一体感に包まれました。最後に北川雄光教室主任(65回)から閉会のご挨拶をいただき、来年の再開を約束し、閉会となりました。

本年度は北島先生のご逝去に伴い、しめやかな雰囲気



懇親会報告



慶應義塾大学医学部
外科(一般・消化器)
岡林 剛史(78回)

気の中で懇親会が開催されました。当日に教室葬が執り行われ、われわれ教室内の人間も気持ちの整理がつかない状態での懇親会となり、刀林会員の皆様にはご迷惑お掛けしましたことをお詫び申し上げます。外科医不足が嘆かれる中、刀林会員の先生方にお力添えいただいたおかげで、本年度も22名のD3の先生に刀林会に入会していただくことが出来ました。慶大外科は全国的にもかなりの多くの専修医を受け入れており、皆さんの若い先生方の新しい力を得ながら刀林会員が一致団結し、益々刀林会および慶大外科を盛り上げていくことは北島政樹先生への恩返しになると思っております。来年以降もより多くの刀林会会員の先生方にご臨席を賜り、懇親会が結束を強固にする場となるよう努めてまいります。今後ともどうぞよろしくお願致します。

韓国延世大学との調印式報告



慶應義塾大学医学部
外科(一般・消化器)
八木 洋(77回)

故北島政樹名誉教授(45回)が2017年11月に開催されました韓国外科学会創立70周年記念大会において招待講演をなさった際、本刀林会と、韓国外科学会との今後の国際交流の発展について議論なされたことをきっかけに、故北島政樹先生のご発案で、刀林会との国際交流を推進するために、将来構想委員会内に国際委員会が設立されました。これは、先般刀林会新開にてご報告させていただきました。その後刀林会理事

会および国際委員会の審議の結果を受けて、故北島政樹先生が医学部長在任中に医学部間でMOU(Memorandum of Understanding)を締結なさっており、その結果、両同窓会間のMOUを新たに締結する運びとなりました。12月1日には、松本純夫刀林会副理事長と小嶋純延世大学外科同窓会総会出席し、本医学部および外科学教室の歴史をあらためて紹介すると共に、今後の具体的な活動と提携内容の確認をいたしました。この度、2019年6月22日の刀林会総会の場に4名の延世大

学の先生(韓国外科学会会長 Sung Hoon Noh 教授、延世大学同窓会会長 Eui Ho Hwang 教授、延世大学外科 Myung Soo Kim 教授、延世大学外科 Brung Soh Min 教授)をお招きし、MOUの調印式を執り行いました。調印式では写真のように Kim 教授、Hwang 会長、松本理事長、北川教授の4名が無事調印を行いました。書類を交換いたしました。

またこの度、故北島政樹先生と高校・大学を通じての同窓生であります三橋洋之様(三橋産業株式会社社長 経済学部39年卒)から本事業のために多大なるご寄付を賜り、三橋記念国際交流基金を設立いたしました。本基金によって外科刀林会を基点とした国際交流や留学支援活動に充てていくことができます。今後の若手外科医の相互交流や他同窓会への展開など、刀林会の飛躍的な発展に繋がる事業として大変期待されます。



2019年6月22日 刀林会総会調印式にて(左から Myung Soo Kim 延世大学外科学教授、Eui Ho Hwang 延世大学同窓会会長、松本純夫刀林会新理事長、北川雄光慶應義塾大学病院長・慶應義塾大学医学部外科学教室主任)

Abraxane
抗悪性腫瘍剤
特定生物由来製品、毒薬、処方箋医薬品(注意—医師等の処方により使用すること)

アブラキサン 点滴静注用 100mg
Abraxane, I.V. Infusion 100mg
パクリタキセル注射剤(アルブミン懸濁型)

「効能・効果」、「用法・用量」、「警告、禁忌を含む使用上の注意」、「効能・効果に関連する使用上の注意」、「用法・用量に関連する使用上の注意」等については添付文書をご参照ください。

製造販売元 大鵬薬品工業株式会社
資料請求先 TAIHO 101-8444 東京都千代田区神田錦町1-27
TEL.0120-20-4527 FAX.03-3293-2451
http://www.taiho.co.jp/

提携先 Abraxis 米国 BioScience
2017年4月作成

血液凝固阻剤
アコアラン 静注用 1800
600国際単位、1800国際単位 / バイアル
ACOALAN Injection アンチトロンピン ガンマ(遺伝子組換え)静注用
[生物由来製品] [処方箋医薬品] [薬価標準収載]
(注意:医師等の処方により使用すること)

※効能・効果、用法・用量、禁忌を含む使用上の注意等については、添付文書をご参照ください。

製造販売元 協和キリン株式会社
東京都千代田区大手町1-9-2
販売元 一般社団法人 日本血液製剤機構
東京都港区浜松町2-4-1

2019年11月作成

【文献請求先及び問い合わせ先】
日本血液製剤機構 <すり相談室> 〒105-6107 東京都港区浜松町2-4-1 医療関係者向け製品情報サイト: <https://www.jpbo.or.jp/med/>

北島政樹先生 教室葬

令和元年5月21日、刀林会理事長であられた北島政樹先生が急逝されました。我々教員、刀林会会員にとりましては、本當に信じられない突然の訃報であり、いまだにその喪失感を癒すことができません。

5月23日、ご親族による家族葬が芝の増上寺にて執り行われ、私自身も弔辞を述べさせていただきます。

北島政樹先生が1991年から16年間の長きにわたり教授として指導くださった慶應義塾大学医学部外科学教室として、6月22日(土)北里講堂にて葬儀・告別式を執り行いました。

教室幹事、尾原秀明准教授の進行で開式の辞が述べられ、黙祷が捧げられました。続いて医学部長天谷雅行先生より告別の辞が述べられました。北島先生と天谷先生との個人的な紹介されたのち、幼少時代からの生い立ち、学生時代の医学部の活躍、ハーバード大学留学時代の



ご家族との生活や、慶應義塾大学教授となつてからの輝かしいご業績等を丁寧にお話しいただきました。次に日本外科学会理事、九州大学大学院医学研究科消化器・総合外科学分野教授、森正樹先生より弔辞をいただきました。森先生ご自身の北島先生との思い出とともに、2000年の第100回日本外科学会総会を会長として主催されるなど日本外科学会全体を牽引して、長年外科学の発展に貢献されたことに日本外科学会を代表して感謝の意を述べてお話しいただきました。

次いで弔辞をいただいた日本医療研究開発機構理事長末松誠先生は、肝臓導入初期に臨床上の課題を北島先生と一緒に解決したことなど、多くのごエピソードをご紹介くださいました。また、ご家族を大切にしながらも診療・研究・教育に邁進され、多くの優秀な後進を育成されたお姿を感慨深く振り返られました。次に弔辞を述べられた慶應連合三田会会長、北里大学名誉教授比企能樹先生

は、生前同様に「北さん」と呼びかけながら北島先生が杏林大学に赴任された頃のエピソードや第100回日本外科学会での記念講演など輝かしい活躍の思い出をご紹介下さいました。最後にご遺族を代表してご令室北島宏江様より、また主催者を代表して北川より会葬の御礼を申し上げ、参列者の皆様にご献花をいただきました。皆様が遺影を見つめて涙ぐまれるお姿を拝見しながら、私共も胸が締め付けられる思いを致しました。

教室葬当日はご多忙の中約400名の方々にご参列いただいたほか、多くの皆様からご供花をいただきました。主催者を代表して心より御礼申し上げます。最後にあらためて北島政樹先生の冥福を心よりお祈り申し上げます。

慶應義塾大学医学部
外科(一般・消化器) 教授
慶應義塾大学病院 病院長

北川 雄光(65回)

埼玉医科大学国際医療センター 心臓血管外科教授・診療部長就任



吉武 明弘(77回)

令和元年6月1日付で埼玉医科大学国際医療センター心臓血管外科教授、診療部長を拝命いたしました。就任にあたり、多大なご支援・ご指導を賜りました刀林会の諸先生方、特に志水秀行教授には心より御礼申し上げます。私は1998年に慶應義塾大学医学部を卒業し、一般消化器外科を平塚市民病院、国立栃木病院で学びました。二年間消化器外科を学んだことは、外科医として非常に有意義であったと思います。特に平塚での金井先生や栃木での石川先生には外科医としての、また社会人としてのいろはを学ばせてもらいました。卒業後、計4年間大腸病を専攻し、計4年間大腸病でのレジデントのうちに東京医療センター、済生会横浜市東部病院で心臓外科を学びました。その間四津名誉教授のご高配によりモナコ心臓病センター、タイのチェンマイ大学で臨床フェローでの留学の機会をいただきました。海外では

多くの手術の執刀する機会にも恵まれ、冠動脈や弁膜症などの手術の基本はここで養われたと思います。タイでは日本から来た初めてのフェローから来た初めての後輩の後輩や他の多くの日本人が臨床留学していることは嬉しく思います。2011年に大学病院へ入室し志水教授のご指導のもと大動脈疾患に対する外科治療を中心に学ばせていただきました。

2017年9月より埼玉医科大学国際医療センターへ赴任しました。当センターは埼玉医科大学病院から心臓病センター、包括的がんセンター、救命救急センターの3部門に特化した病院として平成19年4月に開院し、心臓外科の手術件数は日本で5番以内に入っているセンターです。現在11名の心臓外科医で構成されていますが、出身大学は東北、旭川、千葉、筑波、等多様で、様々な文化や経験を持っており非常に勉強になります。また小児心臓外科には鈴木孝明教授(63回)や同期の保土田健太郎先生

(77回)、循環器内科には慶應の卒業生が多く、非常に心強くまた風通しのよい環境で働かせてもらっております。心臓外科専門のCICU14床やオペ室3部屋(ハイブリッド手術室1室)を自由に使えるという病院からのハード面でのバックアップがあることも後押しとなっております。これからは更に当科を発展させ、日本中から若手医師が研修に集まるような科になれば良いと考えております。

今後とも刀林会諸先生方のご支援・鞭撻のほどよろしく御願ひ申し上げます。



第120回日本外科学会定期学術集会

この度、2020年4月16-18日の会期で横浜市におきまして、令和を迎えて初となる第120回日本外科学会定期学術集会を会頭として主催させていただきましたことになりました。教室として北島政樹先生が第100回日本外科学会総会を主催されてから丁度20年ぶりの開催となります。また、外科学教室創設100年に当たる2020年に伝統ある日本外科学会定期学術集会を主催させていただきますことは身に余る荣誉であり、ご支援くださった全ての刀林会会員の皆様から感謝を申し上げます。現在、黒田達夫教授、浅村尚生教授、志水秀行教

授、尾原秀明准教授、篠田昌宏准教授を中心に、全ての教室員が「丸」として準備を進めております。さて、120という数字は人間の生涯において、「大還暦」とも称され、伝統ある日本外科学会もこの「大還暦」を迎え新しい時代の起点に立つこととなります。この大きな時代の転換点において、あえて外科学の原点に立ち返り若い世代が勇氣と希望を抱いて次々に願つて、本学術集会のテーマを「命と向き合い、外科医として生きる」"Live as a surgeon. Looking life in the eye."といたしました。直接的に生命と関

わる医療は、最近の若い世代からは敬遠されがちです。厳しい修練や医療行為そのものに伴うリスク、精神的ストレスがいわゆる「外科離れ」を助長しているとも言われています。この記念すべき定期学術集会において、今一度、命と向き合うこと、外科医として生きることに喜び、誇りを皆様にともに見つめ直してみたいと考えています。本学術集会の最も重要なイベントとして、学会2日目に国立大ホールにおいて第120回日本外科学会定期学術集会記念式典を開催いたします。この式典においては、若手外科医、初期研修医に「未来を担う若手外科医からのメッセージ」を披露していただくことを応募をいただき、ビデオ審査、オーディションを経て、男女3名ずつ計6名の若手外科医が演者として選出されました。当日は、次の時代を担う外科医たちの強い思いに皆様とともに耳を傾けることが本学術集会の一つのハイライトになるものと期待しています。また、こうした若手の思いを

受けて、日本外科学会がどのような将来像を描き、どのような行動計画を実行して行くかを考え、指導医たちからの「未来のための今」横浜宣言2020」を公表する予定です。

第120回定期学術集会を記念して大きく二つの特別企画シリーズを設けました。特別企画「命と向き合うために」では、高度な外科医療を実践するための新しい技術や新しい領域を取り上げ、その将来展望を俯瞰することとしました。また特別企画「外科医として生きる」においては、外科医を取り巻く様々な社会的課題について外科医以外の生きたる者にも参加していただく、その方向性を模索することとしました。本学術集会が、刀林会会員の皆様にとりまして、明日への活力となり記憶に残るものとなりますよう努力してまいりますので、引き続きご指導ご支援のほど何卒よろしくお願い申し上げます。



この度、令和2年11月13日、14日の2日間にわたり第75回日本大腸肛門病学会学術集会を開催させていただきます。伝統ある学会の学術集会会長を務めさせていただきますことと存は身に余る光栄なことと存じます。ご支援を賜りました刀林会の先生方に心より感謝申し上げます。

会場は、現在建築中で令和2年4月に完成予定です。同時期の令和2年11月11日から、前田耕太郎先生が国際大学結腸直腸会議(ISUCRS)を開催されます。本会の一部はISUCRSとの合同シンポジウムを計画しております。学術集会に参加して下さいました先生方



には、ISUCRSにも自由にご参加いただけるようにシステム作りをしています。テーマは「挑戦と検証」"Challenge and Inspection"といたしました。本邦での大腸肛門疾患は増加しており、大腸癌の手術のみならず、大腸ポリープ、炎症性腸疾患、化学療法を含めた集学的治療、肛門部の良悪性疾患と多くのテーマがあります。また、本会には外科だけでなく、内科、肛門科、放射線科、病理と多くの診療科にまたがった学会です。他科とのディスカッションを通じて学ぶことも多いと考えています。大腸肛門病学に関わる新たな知見、術式への挑戦とその成績の検証を大きな柱として



聖マリアンナ医科大学
東横病院 病院長
宮島 伸宜(61回)



行いたいと存じます。また、研修医や若手の先生方の登竜門として研修医セッションやUnder the Sessionなどを計画しています。

日本大腸肛門病学会は昭和15年3月に「日本直腸肛門病学会」として創立され昭和41年に「日本大腸肛門病学会」と改称しました。現在の会員数は約7000人です。太平洋戦争時を除いて毎年学術集会が行われてきました。本学会は慶應義塾大学とはつながりが深く、多くの先生が理事長、理事に就任されています。また、学術集会は小平 正三先生、隅越幸男先生、馬場 正三先生、小平 進先生、丸田守人先生、寺本龍生先

生、日比紀文先生、前田耕太郎先生が開催され、小学生で9人目となります。すべての先生方にご指導いただきながら、その中に加えていただくことは身の引き締まる思いでございます。

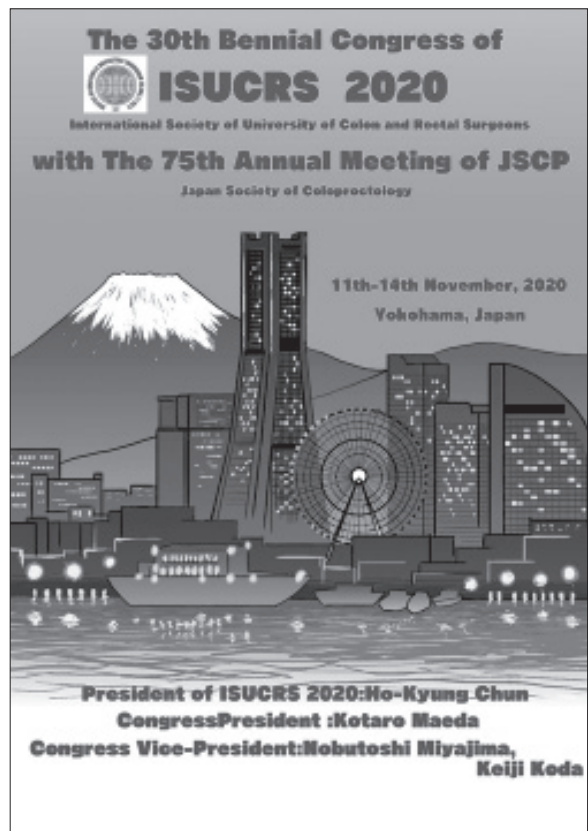
令和2年は4月には第120回日本外科学会が北川雄光会頭のもとで開催されます。また、夏にはオリンピック、パラリンピックが東京で開催されます。刀林会の先生方には色々とお忙しいこととは存じますが、第75回日本大腸肛門病学会学術集会に向けて万全の準備をして参りたいと考えておりますので、どうか、ご理解とご支援の程、伏してお願い申し上げます。

The 30th Biennial Congress of ISUCRS 2020



藤田医科大学病院
国際医療センター
センター長・教授
前田 耕太郎 (58回)

International Society of Yokohamaに隣接して新し
く建設された Pacifico Yokohama Northです。添
付のポスターは、私共の医
局員であった塩田規帆医師
に書いてもらいました。宮
島教授には、2019年の
総会のポスターが提示され
る前に、早々に2020年
の総会のポスターを作成し
ていただき、また ISUCRS
の副会長もお
引き受けいた
だきました。
この場を借り
てお礼申し上
げます。
2020年には慶應の北川
雄光教授が会
頭で日本外科
学会定期学術
集会(会期4
月16-18日)
も Pacifico
Yokohamaで
開催されま
す。



もう昔の話になります
が、2000年に北島政樹
名誉教授が東京で日本外
科学会定期学術集会を、皇
太子殿下(当時)をお招きし
て開催されました。また同
年私の前任の丸田守人名誉
教授が名古屋で日本臨床外
科学会総会を担当され、
2000年はまさに慶應
Yearだった記憶が蘇りま
す。2020年も外科医に
とっては、慶應 Yearにな
ることと思います。多くの
先生方の The 30th ISUCRS
2020 combined with 75th
JSCPへのご参加をお待ち
申し上げます。

令和元年7月4日、5日
の2日間、東京ドームホテ
ル(東京都文京区)におい
て第42回日本呼吸器内視鏡
学会学術集会を開催させ
ていただきました。
日本呼吸器内視鏡学会は
世界で初めて気管支ファイ
バースコープを開発した池
田茂人先生(31回生・外科)
が中心となって昭和53年
に日本気管支研究会として
発足し、その年に第1回学
術集会を開催されました。
第6回(昭和58年)からは
日本気管支学会と学会に昇
格し、更に第26回(平成15
年)からは胸腔鏡、縦隔鏡
などの胸部疾患の診療に関
係する内視鏡全般を包括す
るためその名称を日本呼吸
器内視鏡学会に変更して現
在に至っております。



帝京大学医学部長
川村 雅文 (61回)

意とするところは、「医学
というものは自然と人間と
の限り無い知恵比べの記録
のようなものである。医師
よ、自分たちは自然の由来
に過ぎないなどと言つてく
れるな。離妻のようなすば
らしい眼力と麻姑のような
行き届いた手を持つて、あ
らゆる手段を尽くしてこそ
はじめてそこに医業の真諦
が生まれるのである」であ
りますが、その中でも「離
妻明視麻姑手」の一節は明
治の世にあつて既に現代の
内視鏡技術の発展を希求さ
れているものと考えられま
す。翻つて呼吸器内視鏡の
世界に目を転ずれば、われ
われは気管支鏡から始まっ
て縦隔鏡、胸腔鏡と「離妻
の明視」を手に入れ、更に
は胸腔鏡下手術、そして平
視鏡手術が保険収載される
に至りまさに「麻姑の手」
を手に入れました。このよ
うに先人たちが希求し続け

た技術を手にした今、われ
われはそれらの技術をいか
に使いこなすかを問われて
いるように思います。そこ
で本学術集会をもう一度原
点に立ち返つてそのことに
ついて考える機会にしたい
と考え、福澤先生の漢詩の
一説をテーマとして選ばせ
ていただきました。
現在、日本呼吸器内視鏡
学会の会員は呼吸器内科
呼吸器外科、放射線科、病
理など広い範囲の医師、メ
ディカルスタッフから構成
され会員数は6700名を
超えますが、本学術集会の
参加者は3200名を超え
るようになります。また海外
からも Asian Pacific Congress on
Bronchology & Interventional
Pulmonologyとの共同セッ
ションを組むなどして多く
の参加者を迎えることがで
きました。
本学術集会では気管支鏡
による診断・治療にとどま
らず、気管・気管支に関する
再生医療を含めた基礎研究
から喘息・COPDに対す
る interventional pulmonology、
胸腔鏡を用いた診断・治療、
更にはロボット手術を含む
胸腔鏡下手術まで呼吸器疾
患全般に対する基礎・診断・
治療を広く取り上げること
ができましたが、特に慶應
肺外科のお家芸であった気
管・気管支形成術に関する
基礎から臨床までを体系的
に教育講演、シンポジウム
等で取り上げたことは呼吸
器外科医の間で大変好評を
博すことができました。
最後となりましたが、こ
の学術集会の開催に当たり
多大なご支援、ご高配を賜
りました刀林会の諸先生方
に厚く御礼申し上げます。
特に故北島正樹先生には本
学術集会の運営にあたり貴
重なご助言と多大なご支援
を賜りましたことを此処に
申し添え、謹んでご冥福を
お祈り申し上げます。

受賞報告

第31回日本頭蓋底外科学会

優秀論文賞



藤田医科大学脳神経外科
安達 一英 (78回)

この度、執筆させていただ
く機会をいただきました事
に感謝いたします。受賞
論文 (Susceptibility-
Weighted Imaging (SWI)
of Deep Venous Congestion
in Petrosal Venous Conges-
tion (World Neurosurg. 2019))
はSWIを用いた頭蓋底髄
膜腫の一種である錐体斜台
部髄膜腫の静脈鬱滞を評価
可能である事を明らかにし
たものであります。ここに
至ったのは、河瀬斌前教授
のご指導の元2006年度
第18回日本頭蓋底外科学会
で発表させていただいた事
で頭蓋底外科に興味を持っ

た事が出発点になります。
当時の発表は頭蓋底髄膜腫
に対し、術前に摘出率や難
易度を判定可能なGrading
を作成するといった物で、
その後2006年にABC
Surgical Risk Scale for
skull base meningioma: a
new scoring system for
predicting the extent
of tumor removal and
neurological outcome.とし
て論文発表し、第22回日本
頭蓋底外科学会学会賞をい
ただきました。当時河瀬斌
前教授が学会理事長をされ
ており、直接会場にて表彰

い出です。その後現在まで
吉田一成教授、廣瀬雄一教
授にご指導いただいております。
錐体斜台部髄膜腫に
は河瀬斌前教授の名前を冠
した Kawase's triangleを
開 削 す Anterior
transpetrosal approachが
有用ですが、以前より適応
が過小評価されていたとい
う思いがあり、また同腫瘍
の存在部位は頭蓋底深部で
複雑な静脈解剖と関連して
いることから、手術適応に
関する 論文 (World
Neurosurg. 2018) と、腫
瘍存在下に正常静脈還流路
が変更されるという論文
(World Neurosurg. 2016)

を書かせていただきました。
そのような知見をもとに
、腫瘍増大に伴う静脈路
変更が不十分で静脈還流が
障害されると、頭蓋内静脈
鬱滞につながる事を明らか
にしたのが本論文になりま
す。吉田一成教授が理事長
をされております第31回に
受賞でき、より感慨深いも
のがあります。今後は自身
の精進に後進の指導も行っ
てゆきたいと考えておりま
す。よろしく願います。



この度、執筆させていただ
く機会をいただきました事
に感謝いたします。受賞
論文 (Susceptibility-
Weighted Imaging (SWI)
of Deep Venous Congestion
in Petrosal Venous Conges-
tion (World Neurosurg. 2019))
はSWIを用いた頭蓋底髄
膜腫の一種である錐体斜台
部髄膜腫の静脈鬱滞を評価
可能である事を明らかにし
たものであります。ここに
至ったのは、河瀬斌前教授
のご指導の元2006年度
第18回日本頭蓋底外科学会
で発表させていただいた事
で頭蓋底外科に興味を持っ



自宅の庭で妻と食事
Hackett 教授

この高配により本年秋より
このラボでの研究従事にも
推薦していただき、現在は
Zeoptolemos 教授のもと脾
分野におけるサブタイプ解
析およびクラススイッチを
テーマとした研究に勤しん
でおります。当ラボは中国
からの留学生が多いです
が、みな非常にフレンド
リーで勤勉であり、恵まれ
た同僚の中で日々良い刺激
を受けております。
そのように仕事面で充実
した日々を送る一方、ブラ
イベートに関しても、妻の
リクエストに応えて適宜息
抜きがてらベルギー、フラ
ンス、スイスなど近隣諸国
に短時間で気軽にドライブ
し、非常に満喫できており
ます。まだ一年も経ちませ
んがすでに多くのものを見
てきて、「世界は広い。が、
近頃」ということを実感し
ている次第であります。
最後になりましたが、こ
のような大変貴重な留学の
機会を与えて下さった北川
雄光教授ならびに慶應義塾
大学医学部外科学教室、刀
林会の皆様を中心により御礼申
し上げます。今後ともご指
導・ご鞭撻のほど宜しくお願
い申し上げます。



Hackett 教授

留学報告



永 滋教 (86回)

2019年4月よりドイ
ツのハイデルベルク大学一
般・消化器・移植外科に留
学させていただいておりま
す。観光地としても人気の
古城街道に位置するハイデ
ルベルクは中世の城、街並
みがそっくり残った人口
15万人ほどの小規模都市で
す。ドイツ最古のハイデル
ベルク大学(1386年創
設)を中心として築える学
園都市であるため治安も非
常に良好で住みやすく、そ
の美しい街並みはゲーテや
シヨパンをはじめとする多
数の文化人にもこよなく愛
されたことで知られていま
す。

W. Bucher 教 授、Thilo
Hackett 教授のもと年間
700件を超える脾切除を
行っており、International
Study Group of Pancreatic
Surgery (ISGPS) の中核
を担う世界有数のハイボ
リウム脾臓外科施設であ
ります。私はまず赴任後半
年間は連日手術やカンファ
レンスに参加し、世界を牽
引する手術手技を目に焼き
付け吸収させていたたくこ
とができました。また同時
に当施設の膨大な手術デー
タベースをもとに脾臓腫瘍
の低侵襲手術に関する臨床
研究に従事させていただい
ております。

一方、ハイデルベルク大
学外科では臨床のみならず
基礎研究にも
重きを置くべ
く、2017
年より
European
Study Group
for Pancreatic
Cancer
(EUPAC) の
Chairman だ
けで John P.
Neoptolemos
教授を招聘し
新たなラボを
立ち上げまし
た。私は、
Hackett 教授

2019年4月より、カナダ・バンクーバー、ブリティッシュコロンビア大学セントポール病院(Centre for Heart Lung Innovation (CHI))のDon Sin教授の研究室に留学させていただきました。研究室内では、治療法が未確立のCOPDのバイオマーカー検査を中心に研究が進められていますが、私は前任の先生方から継続している肺気腫に対するラジオ波焼灼治療の研究を行っています。ラットで集積したデータをマウスで実証する、肺機能の改善を運動能で示すことを目標に、デバイスについては協力企業と連携して改良を行っており、医工連携の側面も強い研究となつています。



写真1: クリスマスの準備が進むセントポール病院

カナダでは、動物実験を行う際には、倫理から行動学、麻酔、薬物投与、手術などについて第三者が評価を行うトリーニングが必須で、7月からの実験開始となりましたが、自分の知識や技術不足で難儀することも少なくなく、知識や技術が進歩するところから少しずつ進歩させる過程は外科医の鍛錬にも似ていて、レジデントになりたての頃を懐かしく思い出しました。ただ、研究室内で動物実験を任せられる人数は限られ、基礎的な研究経験が乏しい私にとって、外科医としてのアイデンティティを生かせる研究に携われることは光栄に思います。自分の得たものをきちんと還元できるように、2年間を大切に過ごしたいと思っております。



写真2: 共同研究チーム (前列左端が Sin 教授、後列右から3人目が筆者)

北国ならではのクリスマスシーズンを楽しみに過ごしています。留学前後に渡り、本当にたくさん先生に助けけていただき、自分のおかげで恵まれた環境に感謝する日々です。末筆ながら、高配をいただきました北川雄光教授ならびに外科学教室、刀林会の皆様にご挨拶申し上げます。今後とも御指導・ご鞭撻の程、よろしくお願ひ致します。

外科学(一般、消化器)88回 庄司佳晃と申します。2016年にチーフレジデントを終え、がん研有明病院消化器センター胃外科を経て、2019年4月より米国カリフォルニア州サンタモニカにございます John Wayne Cancer Institute に留学中です。John Wayne Cancer Institute は Saint John's Health Center に隣接されたがん専門研究施設であり、がん患者の臨床検体を用いた Translational Research が盛んに行われております。当教室からも竹内裕也先生をはじめ、数々の先輩方が留学されて研究に没頭できていることを心から感謝申し上げます。

私は現在、大きく3つの研究テーマ、(1)食道癌シスプラチン耐性における Ubiquitin の関与、(2)胃癌における DNA メチル化と予後の関連、(3) PARP 阻害薬耐性における exosome の役割に取り組んでおります。(1)は前任の西知彦先生の研究を引き継ぎ、同僚である浜松医科大学外科学第二講座の村上智洋先生と共に研究に取り組んでおり

ます。(2)では Amsterdam University Medical Centers との共同研究として Droplet Digital PCR 技術を用いて Dutch D1D2 trial の臨床検体における DNA メチル化と予後の関連の解析を行っております。また、(3)では新規分子標的治療薬である PARP 阻害薬について、exosome に関連する新たな耐性獲得機序の解明を目指しております。研究テーマが多岐にわたりますが、留学中に成果を挙げべく努力して参ります。

また、ベンチワークの日々ですが、手術手技の維持・向上を図るべく University of California, Los Angeles (UCLA) にも手術トレーニング施設である Center for Advanced Surgical & Interventional Technology への立ち入り許可を戴き、定期的な胸腔鏡・腹腔鏡下手術、ロボット支援下手術のシミュレーションを行っております。ロサンゼルスでの生活は物価が日本の約2倍、山火事が頻発する、スペイン語人口が多く英語があまり通じないなど不便なこともございますが、夏涼しく冬暖かい過ごしやすい気候、自然が多く子供に優しい環境の中、家族3人で今しかできない貴重な生活を楽しんでおります。



筒井 麻衣 (86回相当)



庄司 佳晃 (88回)



刀林賞を受賞して

この度は伝統と栄誉のある刀林賞をいただき、誠に光栄に存じます。この研究論文を作成する環境を与え、指導下さった、当科 村尚生教授をはじめ、慶應外科学の諸先生方、国立がん研究センター中央病院、診断部元井紀子先生、同呼吸器外科先生方、そして本論文をご評価いただきました刀林会選考委員の先生方に深く感謝申し上げます。この場をお借りしてまず御礼申し上げます。

of Margin Distance and Tumor Spread Through Air Spaces in Limited Resection for Primary Lung Cancer)は2015年に肺癌の新浸潤概念として定義された経気腔進展(STAS: spread through air-space)と呼ばれる浸潤形態概念に着目し、縮小手術の予後因子を検討した臨床研究論文です。我々呼吸器外科医にとって原発性肺癌の術式選択は、標準手術である肺葉切除だけでなく耐術能に応じた妥協的縮小手術やCT所見を考慮した

積極的縮小手術と様々な術式選択は予後を規定する重要な因子であり、縮小手術に対する予後因子の解明は癌根治の観点で重要です。これを踏まえ、ステージI期肺癌縮小手術例508例を対象とし、STASを含む臨床病理学的因子について統計解析を行い、縮小手術における予後因子の解析を行いました。結果、STAS陽性腫瘍を76例(15.0%)に認め、STAS陽性と surgical margin 10cm 以下が局所再発における独立予後因子であることがわかりました。また、STASの病理学的特徴として、充実性成分、微小乳頭状成分を含む肺腺癌にSTASが多いこともわかりました。今回の研究を通して、STASの重要性が科学的に立証できただけでなく、我々外科医が日常診療で常に意識して、surgical margin の重要性についても再認識できる結果となったと考えます。一方、STAS陽性腫瘍の持つ "biological behavior" については十分に解明されてお

ず、今回の研究結果をxrayに発展させ、STASの biological behavior についても研究を継続する予定です。今回の受賞に際し、真摯に患者さんに向き合い、そこから得られる [clinical question] を大切にすることの重要性を再認識いたしました。頂いた賞に恥じぬよう外科医として更なる精進を続けていく所存です。今後ともご指導ご鞭撻のほど何卒宜しくお願い致します。

この度は伝統ある刀林会の刀林奨励賞をいただき、身にあまる光栄に存じます。今回の受賞にあたり、ご指導いただきました志水秀行教授、北川雄光教授、尾原秀明准教授に厚く御礼を申し上げます。私が受賞した論文は、2017年の "Circulation Journal" に掲載された "Anatomic Feasibility of Next-Generation Stent Grafts for the Management of Type A Aortic Dissection in Japanese Patients" という表題の論文です。

胸部大動脈疾患の標準治療は、人工心肺を用いた開胸人工血管置換術ですが、近年より低侵襲な胸部大動脈ステントグラフト内挿術 (TEVAR) が急速に普及しています。胸部下行大動脈瘤および急性B型大動脈解離に対しては、TEVARが既に第1選択になることが多くなっており、A型大動脈解離 (TAAD) は、脆弱な解離が上行大動脈に存在し、一般的にTEVARは困難とっております。また、TEVARの成功には、詳細な解剖学的な解析が必須ですが、日本



本論文「Prognostic Impact of Margin Distance and Tumor Spread Through Air Spaces in Limited Resection for Primary Lung Cancer)は2015年に肺癌の新浸潤概念として定義された経気腔進展(STAS: spread through air-space)と呼ばれる浸潤形態概念に着目し、縮小手術の予後因子を検討した臨床研究論文です。我々呼吸器外科医にとって原発性肺癌の術式選択は、標準手術である肺葉切除だけでなく耐術能に応じた妥協的縮小手術やCT所見を考慮した



人におけるTAADの解剖学的評価は皆無でした。そこで今回われわれは、2007年から2015年に、慶應義塾大学病院および東京都済生会中央病院で、TAADに対し開胸人工血管置換術が施行された全172症例のうち、CT画像および手術記事にて entry tear (ET) が同定可能な131例の解剖学的解析を実施し、更に現在開発が進む次世代ステントグラフトシステムとの解剖学的適合性を検討しました。その結果ですが、日本



刀林奨励賞を受賞して



慶應義塾大学医学部 外科(呼吸器) 政井 恭兵 (85回相当)



東京都済生会中央病院 心臓血管外科 藤村 直樹 (82回)

人におけるTAADの解剖学的評価は皆無でした。そこで今回われわれは、2007年から2015年に、慶應義塾大学病院および東京都済生会中央病院で、TAADに対し開胸人工血管置換術が施行された全172症例のうち、CT画像および手術記事にて entry tear (ET) が同定可能な131例の解剖学的解析を実施し、更に現在開発が進む次世代ステントグラフトシステムとの解剖学的適合性を検討しました。その結果ですが、日本

刀林奨励賞を受賞して



慶應義塾大学医学部
外科(一般・消化器)
竹内 優志(91回)

この度は、荣誉ある刀林奨励賞を受賞することができ、大変光栄に存じます。今回の受賞にあたり、日頃よりご指導頂いておられます北川雄光教授、川久保博文准教授および直接論文のご指導を賜りました須田康一・現藤田医科大学教授に厚く御礼申し上げます。この度私が受賞した論文は、「Gastrointestinal Endoscopy」に掲載された「Technical feasibility and oncologic safety of diagnostic endoscopic resection for superficial esophageal cancer」になります。食道癌治療において、臨床的深達度cM3SM2食道癌に対する標準的治療は食道癌根治術ですが、侵襲が大きく合併症や死亡発生リスクが高いことが知られております。一方、癌が粘膜固有層にとどまる病変に対する標準的治療は内視鏡的切除であり、合併症発生リスクが低く、病理学的深達度も癌が粘膜固有層にとどまることが確認できれば食道温存が可能となります。表在型食道癌の深達度



診断精度は、狭帯域光観察・拡大内視鏡検査を用いても十分とは言えず、しばしば食道癌根治術施行後の病理組織学的検査にて内視鏡的切除で根治し得た可能性が示唆されます。すなわち、cM3SM2食道癌に対して内視鏡的切除を施行し、その病理学的検査結果をもとに追加治療の要否を決定することで、根治性を落とさず食道温存率を向上できる可能性が考えられました。本研究では、cM3SM2食道癌に対する内視鏡的治療後の治療戦略を含めた「診断的内視鏡的治療」という概念の腫瘍学的安全性と臨床的有用性を報告した点で有用であると考えております。本受賞を励みに、今後とも食道癌治療において多くの知見を世界に発信できるように精進して参りたいと思っております。引き続き、ご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

帰宅報告



慶應義塾大学医学部
外科(一般・消化器)
清島 亮(86回)

2019年4月より慶應義塾大学医学部一般・消化器外科に帰室し、腸班の一員として研鑽を積ませて頂いております。私は大学院在籍中に、北川雄光教授の御厚意により先端医学研究所 遺伝子制御研究部門の佐谷秀行教授のもとで癌幹細胞に関する研究をさせて頂いておりました。その当時の研究のつながりもあり、2016年4月より3年間、シンガポール科学技術研究庁(Agency for Science, Technology and Research: ASTAR)の医学生物学研究所 (Institute of Medical Biology: IMB) という部門にて、腸の組織幹細胞の発見者であるNick Barker博士のもとで研究留学をさせて頂きました。



診療体系グループ紹介



慶應義塾大学医学部
外科(一般・消化器)
篠田 昌宏(73回)

肝胆膵・移植班は、6名のスタッフ、篠田昌宏(73回)准教授、北郷実(74回)准教授、阿部雄太(77回)専任講師、八木洋(77回)専任講師、大島剛(83回)助教、堀岡太郎(85回)助教)と約10名の専修医で構成され、篠田が班長として班全体の臨床、研究、教育を統括するとともに、臨床では阿部が肝・胆道、北郷が膵・胆道、篠田が移植の各領域の責任者として活動しています。肝・胆道領域では、原発性・転移性肝癌の腹腔鏡下肝切除を積極的に行っており、肝切除における腹腔鏡下手術の割合は年々増加しています。肝胆膵領域の中でも非常に困難性が高いとされる肝門部胆管癌手術

同窓会便り

第50回恙無会(旧食研外科研究室同窓会)報告

恒例となった5月の第4木曜日、2019年5月23日(木)正午より約3時間、これも恒例となった新宿駅西口・京王プラザホテル内中華レストラン「南園」で開催された。

外喜男君と関根迪式君(いずれも29回、今回都合で欠席)で、現在会員数は24名である。今回の出席は会員13名、夫人6名、研究助手等のお嬢さんであった2名、計21名であった。

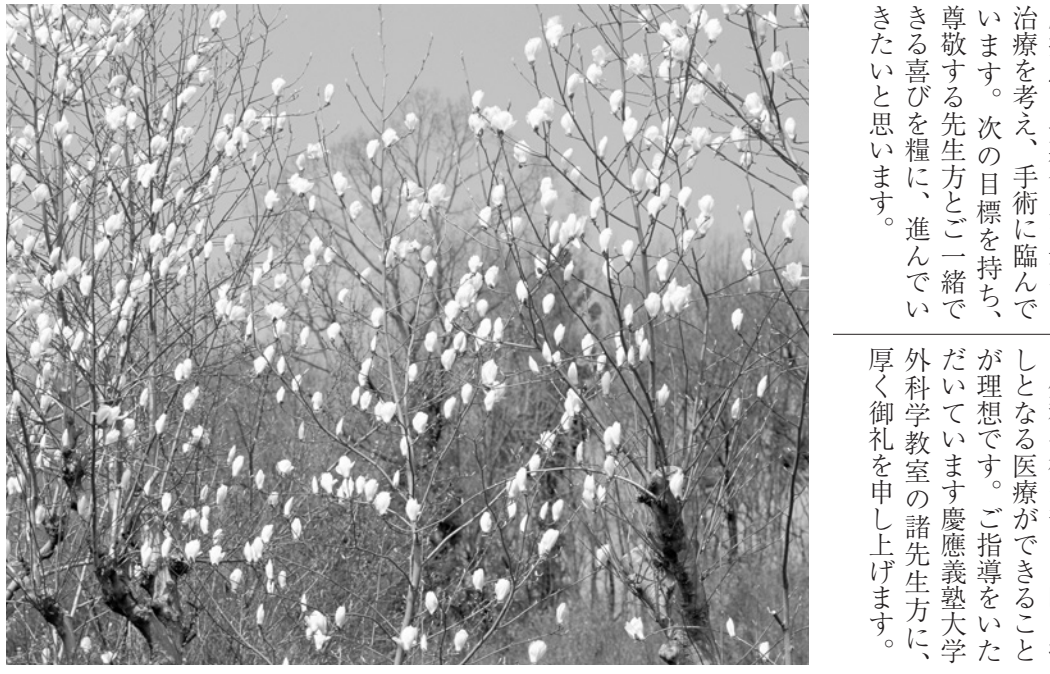


前列左より、吉野肇一、古谷健二、佐藤 清;中列、本橋五十路(旧姓田村、胃鏡室)、船曳夫人、柴崎智津子(旧姓染谷、研究室秘書)、丸山夫人、比企夫人、武石夫人、田中夫人、鈴木夫人、佐藤夫人;後列、丸山圭一、鈴木卓二、船曳孝彦、田中建彦、椎名栄一、比企能樹、横山拓也、秋里和夫(早退:山本修三)

この日は快晴で、日本列島各地で5月としては暑さの新記録が続出し始めの陽気であった。また、週末には米国のトランプ大統領が令和初の国賓として来日し、大相撲夏場所の優勝力士への大統領杯授与が予定されていた。いつものように丸山圭一の司会のもと、この1年間に逝去された中川自夫君

なでしこ外科医へ(38回)と宮崎道夫君(40回)への黙祷を捧げた。乾杯を椎名栄一君(35回)が、庶務・会計報告を丸山幹事が行った。続いて近況を、出席会員は丸山幹事がスライドで報告した。興味深かったのは、この1年の間に臨床から離れた会員が数人いた一方で、欠席の大槻道夫君が90歳を超えてなお、「診療できることが嬉しくて仕方がない」と、長野県諏訪市で患者さんと向き合う生活を続けているとの話が紹介された。また田中建彦君(33回)は、「こむらがえりの即効治療予防」についての研究成果を、資料を配布して講義された。船曳孝彦君(40回)は今年2月に「ピレネー山脈でスキー」を楽しみ、そのスライドを映写した。明年5月、同じ会場での再会を約して参会した。(丸山・吉野)

私は2006年に埼玉医科大学を卒業し、慶應義塾大学病院での2年の初期臨床研修の中で手術や肝移植医療に興味を持ち、北川雄光教授の一般・消化器外科に入局させて頂いた。D3で当時の大田原日赤、D4で東京歯科大学市川総合病院に出張させて頂いた。肝臓外科への思いが更に強くなりました。2010年に帰室後、肝胆膵・移植班に加えていただき、当時チーフであった大島剛先生を教わり、手術や周術期管理のサポート、移植後リンパ増殖性疾患の患者さんが無事退院されたことなど、感慨深く思い出します。また、留学から戻



なでしこは可愛らしい花ですが、女性の外科医としては体力を磨き、勉強し、人が天寿を生きる助けとなる外科手術や苦しい時の療養を、次の目標を持って進んでいきます。ご指導をいただいています慶應義塾大学外科学教室の諸先生方に、厚く御礼を申し上げます。

なでしこ外科医



東京都済生会中央病院
一般・消化器外科
門多 由恵(85回相当)

なでしこは可愛らしい花ですが、女性の外科医としては体力を磨き、勉強し、人が天寿を生きる助けとなる外科手術や苦しい時の療養を、次の目標を持って進んでいきます。ご指導をいただいています慶應義塾大学外科学教室の諸先生方に、厚く御礼を申し上げます。

近況報告

46回生



今村 洋二 (46回)

私は、現在、枚方市の「関西医科大学くずは病院」で現役の病院長としております。病院は、回復期リハを中心とした慢性期医療と介護部門を有する94床の小さな病院です。ますます進展する高齢化社会に対応できる病院として、地域医療サービスとの構築並びに大学付属の病院としての役割である地域医療を担う医師、医学生、看護師等の教育、研修の場となるよう努めて



松田 宏一 (46回)

(地位) ○医療法人社団盛期会 名誉院長 ○浜松市私的病院長会々長 ○静岡日赤、浜松日赤とのゴルフコンペ出席 ○慶応卒後、研修セミナーに毎回出席して勉強 ○その他 グルメを中心とした旅行、音楽会や女房との日頃の戦い(意見合わらず、仕事に関する法廷闘争、週1~2回)

(家族) 妻、子供3人(夫々独立)、孫8人 長男、浜松北病院理事(75回外科)

(近況)

- (1)毎週(火) ロータリークラブ例会出席 (2)医師会 各医会代表との例会(1x/月) (3)同窓会の話役(46回生で年3回 浜松、旭川、高知でゴルフとグルメ会) (4)静岡日赤、浜松日赤とのゴルフコンペ出席 (5)慶応卒後、研修セミナーに毎回出席して勉強

プールの通い等で、健康維持に努めています。

(編外)

浜松北病院と約10分の所にある浜松医科大学には病院開設(S58年)以来大変お世話になっております。特に本校慶應大学より学長はじめ3部門の教授(第2外科、小児科、第3内科)が赴任されていて三四会員として本当に心強く思い感謝しています。



松土 昭彦 (46回相当)

網膜剥離の手術後視力低下に悩み外科医をすて日野

市立病院を辞し立川で開院してから四半世紀が過ぎました。当初は外科と消化器の疾患にこだわり他は見向きもしないでやってました。時が立ち周囲の環境も変わりいろいろ勉強させられて今では何のこだわりもなく来る者拒まずあらゆる患者様とおつき合させていただいています。現在の最大身の麻痺が完治せず



熊井 浩一郎 (46回)

70歳を期に平成25年3月で日野市立病院院長を退任し、名誉院長として幹部会

議出席を中心にお手伝いをしています。主な役割は医師確保のため院長の大学訪問に同行することで、市民の代表から日野市立病院に対する意見、要望を聞く運営協議会や小生が院長時代に市民に病院の現状を理解してもらい協力を仰ぐために立ち上げた市立病院応援団(4団体)の会合等にも参加しています。小生は外科学教室在籍中に教室の刀林会係を長年務



酒井 忠昭 (46回)

外科の臨床を離れてから在宅診療に携わってきました。その間、在宅ケアを支援する、認定NPOホームケアエクスパーツ協会を立ち上げ13年になります。訪問看護ステーション、音楽療法、心理カウンセリング、



杉浦 芳章 (46回)

セカンドオペニオンの提供、法律上の助言など、看護師、音楽療法士、臨床心理士、弁護士、社会福祉士などの仲間たちと共に活動しています。刀林会をはじめ同級の方々にもご支援をいただきます。心からお礼申し上げます。自分も含めて「充実した晩年」の手助けをたいと考えました。不安な社会情勢のなかで仲間同士の交歓が大切だと実感しております。ご関心のある方はご連絡ください。 (YQL5024@nifty.com)

平成24年手術から足を洗い山王メデイカルセンターで透視の読影を四千例行った。青空に漂う白雲がレリーフの途切れや陰影欠損にも見える程になった。新刀林会会長の松本先生の計いで平成28年以來湘南慶育病院総合診療内科に勤めている。よろず内科は難しいが楽しい。発熱、発疹、刺虫、めまい、悩ましいいろいろである。85才の晩酌たうイスキーを楽しむ洒落たおばあさん。ガラ携が壊れスマホを買わされた。不慣れでイライラ不眠。まずはスマホを開かせ、一番大事な連絡先さんの娘さんに掛ける方法を教えた。無事繋がりました。娘さんの要望で私に変わりました。娘さんの連絡がなかったので、イラ

イラ不眠が解消されるのでしようかと答えた。医事課に指導料は取れるか聞いたら駄目とのこと。家では芝刈り、ウッドデッキの防水塗り、野菜作り、枝おろしが上手である。昨年11月登っていたはしごが倒れ右前額を切った。それ以来女房がはしごを禁止している。即死ならまだしも寝たきりになると困ること。ボケ防止には好きな英語の勉強を続けている。又開基も楽しんでる。子供二人も結婚し、平凡に孫の成長が楽しみである。先々週博多で癌治療学会の代議員懇親会に出席した。乾杯の音頭は北さんがやるはずだった。



エッセイ

国境なき医師団(MSF) .. ナイジェリア派遣

夏休みに年休を足して6週間の休暇をとり、2019年7月から、国境なき医師団のミッションに参加しました。NigeriaのGAWAZA 病院に外科医として派遣されました。元は国立病院だったので、元が、ボコハラムを始めとする武装勢力との紛争のため、2016年から政府は撤退し、代って国境なき医師団が運営しています。道路は封鎖されているので、国連

のヘリコプターでの現地入りです。朝のミーティングでは、毎回近隣の戦闘報告がなされますが、普段の生活は至って平和で、銃声も時々する位で、砲声は殆ど聞きませんでした。GAWAZA 病院には若手医師が7人いて、彼らに指導しつつ臨床を行うミッションです。毎朝回診して、手術をする。時々緊急手術があるという生活です。住民の過半数がイスラム教徒のため、生活圏内は完全に禁酒でした。毎日アルコール状態なので、毎日本に飲まなければならず、禁酒に苦痛を感じて、早く帰りたいという気持ちがあります。毎日禁酒で、無影灯も明るのです。繁に起こるすから、電池式のLED



ヘッドライトが欠かれました。麻酔は教育を受けた看護師が、特に問題なくかけてくれます。最も多い手術は鼠径ヘルニアですが、他に外科系の医師はいませんから、帝王切開や下肢切断など、あらゆる手術への対応が求められます。

雨季に入ってから涼しい時期で、住環境は快適でした。料理もかなりバリエーションがあり、主に出てくるマトド肉を煮込む料理を始め、揚げパンやライス、パスタ、タロイモ等が充実しており、美味しい食事を楽しむことができました。西アフリカの英語はとて訛りが強く、判りにくく苦労しました。また、WiFiが入るので、日本とLINEでつながっていて、早く帰りたいという気持ちがあります。私が最初にMSFに参加したのは、ノーベル平和賞をとる直前の1999年7月から内戦下のスランカの外科ミッションでした。当時はボランティア色が強く、現地チームの派遣ス

タッフ達には、高給を捨てて、江戸っ子の粋のようなもので参加するというような意識の高さを感じました。仕事の得られる貢献感や充実感が報酬であるという概念の実践であり、自浄作用が強く管理が極めて簡素な共同体のような印象でした。2006年にダルフール紛争下のチャドに派遣された時は、余り感じませんでした。今回のミッションに参加した印象は随分違いました。ノーベル平和賞受賞から20年、MSFも大きくなり、給料を始め多くの意味でしっかりと組織になりました。結果として、派遣スタッフたちも半分はアフリカの他国から来ていますし、それ以外でも発展途上国からの派遣が多く、彼らにとっては十分な給料なので、MSFの精神に共感しているというより、単なる就職先と考えているようです。心意気としては救済の話ですが、その反面、MSFで継続的に働き続けることができるようになり、仕事を辞めてMSFのミッション待ちをする人たちがいたりといった側面もありますので、悪い話ばかりではありません。

動き方改革で、年休消化が勧められています。Challengingする事により、日常生活から積極的に抜け出す選択肢として、社会貢献ができて、見聞が広がるMSF参加をお勧めします。

呼吸器病の中で、「気胸」はよく知られている疾患です。しかし日常的な疾患であるがゆえに、経験的な判断で診療がなされてしまいうためか、気胸に関する記述が充実した、教科書となっているような成書はなかなか見当たらないです。また、診断が遅れば急な心停止を招きかねない緊張性気胸や、内科的・外科的治療法から侵襲なく治療に至らせる方法を考えなければならぬ高年齢者の肺気腫に続発した気胸など、診療上の難しさが多々ある疾病であることは、必ずしも広く認識されていません。

AVASTIN advertisement with image of a hand holding a net and product packaging.

私の著書

臨床に役立つ気胸の診断と治療

克誠堂出版 編集 菊池功次、澤藤 誠、田島敦志



澤藤 誠 (67回)

呼吸器病の中で、「気胸」はよく知られている疾患です。しかし日常的な疾患であるがゆえに、経験的な判断で診療がなされてしまいうためか、気胸に関する記述が充実した、教科書となっているような成書はなかなか見当たらないです。また、診断が遅れば急な心停止を招きかねない緊張性気胸や、内科的・外科的治療法から侵襲なく治療に至らせる方法を考えなければならぬ高年齢者の肺気腫に続発した気胸など、診療上の難しさが多々ある疾病であることは、必ずしも広く認識されていません。

とが白羽の矢が立った理由で、3人での編集作業がはじまりました。

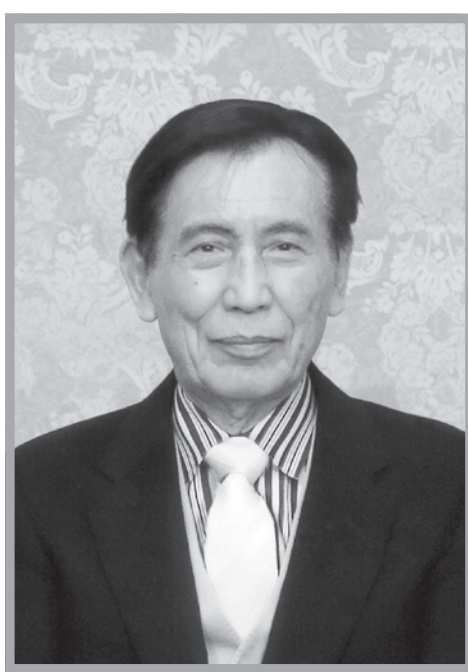
この本は、日々の臨床に役立ててもらえるにはどのような本にすればよいか、を考えながら、胸痛や呼吸困難を訴えて来院する気胸患者を最初に診察するのは、呼吸器が専門外の医師や、研修中の若手医師の場合も多いことから、呼吸器に詳しくない先生にもわかりやすく編集することを一つの方針としました。例えば、初期対応を誤ると緊急事態を招きかねない病態(緊張性気胸、再膨張性肺水腫、血気胸、人工呼吸器接続中の気胸)は、一章設けて詳しく記述し、実臨床で思わぬ落とし穴に嵌らないような注意点を強調しました。また、外科医にとっても必ずしも難しいくない胸腔穿刺やドレーンの挿入法などにも理解しやすいように頁を割いて記載しました。一方で、専門医に委ねられる

追悼

大城兼光先生を偲ぶ

浜松医科大学名誉教授
浜松市立御前崎総合病院顧問
中村 達 (49回)

大城先生は九州大学を卒業後慶應義塾大学医学部大学院に入学され、外科学とくに食道班に所属された(37回卒相)。先生は大学院を習っていると、先生に手術に羨ましがられた。先生の手術は、無駄がない、早い、出血量が少なく、術後経過がいいなどいろいろな伝説的な話を聞かされた。内視鏡技術など、何やつとも上手かった。そんな伝説的な先生がどんな外科医であったか知らない人が多い。昭和30年代、大城先生、星野先生、前田昭二先生(33回)達は、千葉大学外科の中山恒明教授や癌研病棟の梶谷環先生の手術を繰り返して見学に行き、手術器具の使い方、癌切除・郭清、剥離方法、吻合法などの考え方および技術などを学ばれた。昭和45年頃医学部の組織改革が行われた。消化器外科に星野先生が助教として赴任され、外科医たちは手術の上手さに魅了された。星野先生は大城先生のことを「際立って手術がうまい」とよく話題にされた。先生達が他施設の手術を見て腕を磨かれたことは、慶應の外科手術技術の向上に大きくつなげた。現在の慶應の外科医達が日常やっている手術がそのような先人達の努力がベースにあることはあまり知られていない。



大城先生は「若い外科医は手術をやりたがるけど、上手い人の手術は見えない。」それでは上手くならない。「手術にはメリハリが大切だ。」とよく言われた。先生は私個人の外科医人生における原点であります。平成31年2月15日ご逝去されました。大城兼光先生のご冥福をお祈り申し上げます。

刀林会
新入会者紹介



この度、志水秀行教授のご高配により刀林会に入会させていただきましたこととなります。平成25年から当センター心臓血管外科に勤務しております。ご指導ご鞭撻の程宜しくお願いいたします。



令和元年度より刀林会に入会しました平成3年広島大学卒の奥村武弘です。呼吸器外科が専門で主に国立がんセンター中央病院(レジデント)、静岡がんセンターで経験を積みました。4月より埼玉メディカルセンターに勤務しております。会の発展に少しでもお役にたてればと思っております。ご指導ご鞭撻のほどお願いいたします。



この度、刀林会に入会させていただきました志田敦男と申します。昨年度まで東京慈恵会医科大学附属病院に勤務しておりました。ローマのサンジョバンニ病院ロボット手術部門への留学を経て、今年5月から湘南慶育病院で勤務しております。至らない点多々ありますが、御指導御鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



2004年より杏林大学病院・関連病院で8年従事し、2012年より荻窪病院に入職しました。村井院長はじめスタッフの御指導の下、内視鏡外科に特化した診療科の中で日々研鑽させて頂いております。今後地域医療に貢献できるよう努めてまいりますので、御指導御鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



平成30年度より刀林会に入会させていただきました。前勤務病院は荻窪病院心臓血管外科でした。今後は先天性心疾患を専門として、邁進していく所存であります。まだまだ未熟者ではございますが、御指導御鞭撻のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。



さいたま市立病院
新井 修
(89回相当)

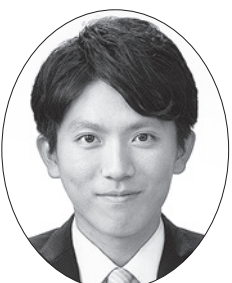
伝統ある刀林会に入会させて頂き誠に光栄です。平成22年昭和大学を卒業し、前職の埼玉県立がんセンターでは主に胃がんに対する低侵襲手術を学んで参りました。今後は新病院でのロボット手術立ち上げに尽力致します。刀林会の一員に加えていただき深謝申し上げます。

刀 林

新入室者



この度慶應義塾大学医学部外科学教室に入室させて頂きました工藤 裕実 (94回) 出身高校：女子学院高等学校 出身大学：慶應義塾大学 クラブ：趣味など、競走部、映画鑑賞



この度、慶應義塾大学外科学教室に入室させて頂きました奥居 潤 (96回) 出身高校：東海高校 出身大学：慶應義塾大学 クラブ：趣味、ハンドボール部



この度、慶應義塾大学外科学教室に入室させて頂きました加藤 宏周 (96回) 出身高校：東海高校 出身大学：慶應義塾大学 クラブ：趣味、ハンドボール部



この度、慶應義塾大学医学部外科学教室に入室させて頂きました前田 悠太郎 (96回) 出身高校：慶應義塾三軒市学院(高等学校) 出身大学：慶應義塾大学 クラブ：スケート部、趣味：クラシック音楽鑑賞



この度、慶應義塾大学外科学教室に入室させて頂きました岡 直幸 (96回) 出身高校：開成高校 出身大学：慶應義塾大学 クラブ：趣味、ラグビー部



この度、慶應義塾大学外科学教室に入室させて頂きました古部 快 (96回) 出身高校：早稲田高校 出身大学：慶應義塾大学 クラブ：趣味、硬式庭球部



この度、慶應義塾大学医学部外科学教室に入室させて頂きました多摩丘陵病院 城崎 浩司 (96回) 出身高校：慶應義塾志木高等学校 出身大学：慶應義塾大学 クラブ：趣味、体育會柔道部



この度、慶應義塾大学外科学教室に入室させて頂きました国立病院機構埼玉病院 奈良 努 (96回相当) 出身高校：埼玉県立熊谷高等学校 出身大学：群馬大学 クラブ：趣味、硬式テニス部



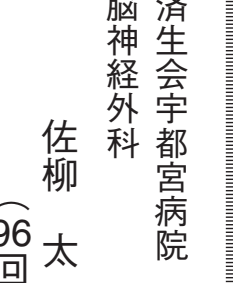
この度、慶應義塾大学外科学教室に入室させて頂きました静岡赤十字病院 外科 依田 恭尚 (96回相当) 出身高校：成城高校 出身大学：日本大学 クラブ：バレーボール



この度、慶應義塾大学医学部外科学教室に入室させて頂きました多摩丘陵病院 沖 尚彦 (96回) 出身高校：広島学院高校 出身大学：慶應義塾大学 クラブ：競走部

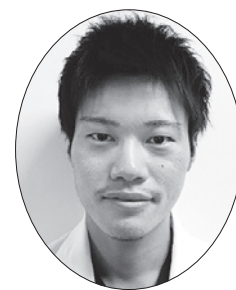


この度、慶應義塾大学外科学教室に入室させて頂きました日本鋼管病院 志水 秀彰 (96回) 出身高校：慶應義塾高等学校 出身大学：慶應義塾大学 クラブ：趣味、体育會アメリカンフットボール部



この度、慶應義塾大学外科学教室に入室させて頂きました済生会宇都宮病院 脳神経外科 佐柳 太一 (96回) 出身高校：聖光学院高等学校 出身大学：慶應義塾大学 クラブ：趣味、バドミントン部

刀 林



国際親善総合病院

中尾 篤志 (96回)

出身高校：筑波大学附属駒場高校
出身大学：慶應義塾大学
クラブ・趣味：アイスホッケー部

この度、外科学教室に入室させていただきました。96回生の中尾篤志です。永寿総合病院にて2年間初期研修を行い、現在国際親善総合病院で後期研修をさせていただきます。

研修医から専修医となり不安も大きいですが、日々一歩ずつ精進していきたいと思っております。今後ともご指導ご鞭撻の程よろしく何卒よろしくお願い致します。



那須赤十字病院

神山 真人 (96回)

出身高校：筑波大学附属駒場高等学校
出身大学：慶應義塾大学
クラブ：バスケットボール部

この度、慶應義塾大学医学部外科学教室に入室させていただきます。96回生の神山真人と申します。東京大学済生会中央病院で初期研修した後、現在は那須赤十字病院で充実した日々を過ごさせて頂いております。今後とも御指導・御鞭撻の程をよろしくお願い致します。

業、熊本大学卒業、準硬式野球部に所属しております。熊本県の国立病院機構熊本医療センターで初期臨床研修および同救命救急、集中治療部で後期研修を行いました。昨年度は慶應義塾大学救急医学教室で後期研修医として勤務いたしました。縁あって本年度から外科学教室の一員として勤務させていただきます。若輩者ですが、精一杯頑張りますので宜しくお願い致します。



平塚市民病院 脳神経外科

日野 宇太郎 (96回)

出身高校：岩田高校
出身大学：慶應義塾大学
クラブ・趣味：硬式テニス部

この度刀林会に入会させていただきました。日野宇太郎と申します。東京歯科大学市川総合病院で2年間の初期研修を終え、慶應義塾大学脳神経外科学教室に入室いたしました。現在は平塚市民病院で脳神経外科医として後期研修を行っております。患者さんの予後を第一に考え日々精進して参りますので、今後とも御指導御鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



荻窪病院

小林 恭子 (96回相当)

出身高校：共立女子高等学校
出身大学：東京女子医科大学
クラブ・趣味：バレーボール部

この度、慶應義塾大学医学部外科学教室に入室させていただきます。小林恭子と申します。東京医療センターで2年間の研修を経て、現在は荻窪病院で諸先輩方より温かいご指導を賜り、日々研修をさせていただきます。至らぬ点ばかりで大変恐縮ですが、優秀な先輩方に少しでも近づけるよう日々精進して参ります。今後とも、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



永寿総合病院

岡 泰州 (96回相当)

出身高校：県立日川高校
出身大学：山梨大学
クラブ活動・趣味：バスケットボール

科学教室に入室させていただきました。96回生相当の岡泰州と申します。現在外科医1年目として永寿総合病院で研修を積ませていただいております。執刀経験も積ませていただき、研修医時代と比べて責任のある仕事も増えて悩むこともあり、諸先輩方から日々温かいご指導をいただいております。まだまだ至らぬ点が多くご迷惑をおかけしますが、今後ともご指導ご鞭撻の程、よろしくお願ひ申し上げます。



浜松赤十字病院

山下 幾太郎 (96回相当)

本年度慶應義塾大学外科学教室に入局させて頂いた山下幾太郎(やましたいくたろう)と申します。熊本県出身で、ラサール高校卒

業、熊本大学卒業、準硬式野球部に所属しております。熊本県の国立病院機構熊本医療センターで初期臨床研修および同救命救急、集中治療部で後期研修を行いました。昨年度は慶應義塾大学救急医学教室で後期研修医として勤務いたしました。縁あって本年度から外科学教室の一員として勤務させていただきます。若輩者ですが、精一杯頑張りますので宜しくお願い致します。



練馬総合病院

柳下 陽香 (96回相当)

出身高校：東洋英和女学院高等部
出身大学：杏林大学
クラブ・趣味：オーケストラ、ゴルフ

この度、慶應義塾大学医学部外科学教室に入室させていただきました。柳下陽香と申します。慶應義塾大学病院での初期研修を経て、現在練馬総合病院で、諸先輩方の熱心なご指導のもと、日々研鑽を積ませて頂いております。外科医一年目ながら、それ以上の経験を賜り、充実した研修生活を送っております。至らぬ点ばかりですが、今後ともご指導ご鞭撻の程、何卒宜しくお願い申し上げます。



公立福生病院

山岸 徳子 (96回相当)

出身高校：仙台育英学園秀光中等教育学校
出身大学：弘前大学
クラブ・趣味：オーケストラ部

この度、慶應義塾大学医学部外科学教室に入室いたしました。山岸徳子と申します。初期研修は公立福生病院でお世話になり、本年も引き続き福生病院で外科専修医としてご指導いただいております。先生方のご指導のもと、外科医として日々成長していけるように努力してまいります。ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願ひ申し上げます。



国立病院機構 東京医療センター

柵木 晴妃 (96回)

慶應義塾大学医学部96回生の柵木晴妃(ませきはらひ)と申します。出身高校は女子学院です。学生時代は三四会水泳部に所属しておりました。本年度新設の女性医師研修推進コースを選択致しました。今後ともご指導ご鞭撻の程お願い致します。



立川病院

西田 梨紗 (96回)

慶應義塾大学出身の西田梨紗と申します。学生時代は一時期は競争部・ヨット部に所属させて頂き、その後は華道や装道を学びました。伝統のある刀林会へ入会させて頂き大変光栄です。どうぞよろしくお願ひ致します。



足利赤十字病院

田中 優衣 (96回)

出身高校：慶應義塾湘南藤沢高等部
出身大学：慶應義塾大学
趣味：馬術、箏曲

この度、慶應義塾湘南藤沢高等部出身の田中優衣と申します。学生時代は一時期は競争部・ヨット部に所属させて頂き、その後は華道や装道を学びました。伝統のある刀林会へ入会させて頂き大変光栄です。どうぞよろしくお願ひ致します。



湘南東部総合病院

萩原 克洋 (96回相当)

出身高校：仙台育英学園秀光中等教育学校
出身大学：弘前大学
クラブ・趣味：オーケストラ部

萩原克洋と申します。東京出身、開成高等学校、千葉大学医学部卒業、中学から入部してまいりました。趣味はバレーボール、写真撮影です。ご指導ご鞭撻の程よろしくお願ひ申し上げます。



佐野厚生総合病院

小林 亮太 (96回)

出身高校：埼玉県立熊谷高等学校
出身大学：慶應義塾大学
クラブ：バスケットボール部、馬術部、国際医学研究会

この度、慶應義塾大学医学部外科学教室に入室させていただきました。小林亮太と申します。栃木県済生会宇都宮病院で初期臨床研修を行った際に、諸先輩方に憧れ外科医を志しました。現在は佐野厚生総合病院で研鑽を積ませて頂いております。今後ともご指導ご鞭撻の程よろしくお願ひ申し上げます。

開業

川崎鶴見血管外科クリニック



院長 渋谷 慎太郎 (76回相当)

令和元年5月にJRC川崎駅西口に「川崎鶴見血管外科クリニック」を新規開業させて頂きました。渋谷(しびや)に慎太郎と申します。私は、平成9年に東京医科大学を卒業後、慶應義塾大学一般・消化器外科学教室に入局させて頂き、これまで研鑽を積んで参りました。

平塚市民病院、済生会神奈川県病院での初期研修を終え、帰国後は血管外科を専攻し、松本賢治先生にご指導頂きました。また、大学での3年間のレジデント生活において、血管班の先輩である新見正則先生に御指導頂き、マウス異所性心移植モデルを用いた移植免疫の研究で学位を取得させて頂きました。平成15年から2年間は日本鋼管病院に

先生の御指導の元、慶應義塾大学における腹部大動脈瘤に対するステントグラフト治療の立ち上げに尽力させて頂きました。その後、平成23年に横浜市鶴見区の済生会横浜市東部病院に移動させて頂き、心臓血管外科専門医を取得し、血管外科部長まで務めさせて頂きました。

卒後20年を経過し、血管外科医として一通りの手技や知識を習得した満足感や達成感から、新たな世界への挑戦を考えるようになりました。昨今、血管外科領域の技術の進歩は目覚ましいと技術者をクリニクでもしっかりと発揮していきたいと思っております。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひ申し上げます。

いた川崎鶴見地区で、血管疾患のプライマリケア、日帰り手術で貢献したいと考え、新規開業させて頂きました。これまで培った知見と技術をクリニクでもしっかりと発揮していきたいと思っております。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひ申し上げます。

顧問税理士 岡田 泰先生 平成23年より、会計に関して確認していただいております。



出身高校：埼玉県立熊谷高等学校
出身大学：慶應義塾大学
クラブ：バスケットボール部、馬術部、国際医学研究会

出身高校：筑波大学附属駒場高等学校
出身大学：慶應義塾大学
出身大学：慶應義塾大学
出身大学：慶應義塾大学



顧問弁護士 堤 健太郎先生 昭和47年7月5日生 昭和16年25日生 東京弁護士会所属 堤法律事務所 東京都千代田区外神田3-16-13 日進ビル4階 電話：03-5289-9130 FAX：03-5289-9131 tsutsumi@tsutsumi-law.jp

顧問税理士をさせて頂いております。岡田泰と申します。最初の職業は小売業で、税理士に転職しました。少々異色の税理士です。何か税務関係にお悩みの先生は、何かのご縁ですの

慶應義塾大学病院 外来 外科担当表

初診外来(午前)

一般・消化器外科

北川雄光
篠田昌宏
和則仁
尾原秀明
北郷実
川久保博文

小児外科

黒田達夫
黒田達夫
交代制

木

加藤源俊
加藤源俊
加藤源俊

金

藤村匠
藤村匠
藤村匠

土

加藤源俊
加藤源俊
加藤源俊

火

伊藤努
伊藤努
伊藤努

月

山崎真敬
山崎真敬
山崎真敬

水

木村成卓
木村成卓
木村成卓

木

志水秀行
志水秀行
志水秀行

火

川合雄二郎
川合雄二郎
川合雄二郎

月

高橋辰郎
高橋辰郎
高橋辰郎

土

赤松雄太
赤松雄太
赤松雄太

金

朝倉啓介
朝倉啓介
朝倉啓介

木

浅村尚生
浅村尚生
浅村尚生

火

佐々木光
佐々木光
佐々木光

特殊外来(午前)

月 血管 松原健太郎

火 肝胆臓・移植 北郷実

水 腸 尾原秀明

木 肝胆臓・移植 阿部雄太

金 腸 岡林剛史

土 食道・胃 高橋麻衣子

火 肝胆臓・移植 八木洋

月 肝胆臓・移植 尾原秀明

水 肝胆臓・移植 松原健太郎

木 肝胆臓・移植 岡林剛史

金 腸 尾原秀明

土 腸 高橋麻衣子

火 腸 入野誠之

月 腸 尾原秀明

水 腸 尾原秀明

木 腸 尾原秀明

金 腸 尾原秀明

土 腸 尾原秀明

火 腸 尾原秀明

月 腸 尾原秀明

水 腸 尾原秀明

木 腸 尾原秀明

金 腸 尾原秀明

土 腸 尾原秀明

火 腸 尾原秀明

月 腸 尾原秀明

水 腸 尾原秀明

木 腸 尾原秀明

金 腸 尾原秀明

土 腸 尾原秀明

火 腸 尾原秀明

月 腸 尾原秀明

水 腸 尾原秀明

木 腸 尾原秀明

金 腸 尾原秀明

土 腸 尾原秀明

火 腸 尾原秀明

月 腸 尾原秀明

水 腸 尾原秀明

木 腸 尾原秀明

金 腸 尾原秀明

土 腸 尾原秀明

火 腸 尾原秀明

月 腸 尾原秀明

水 腸 尾原秀明

木 腸 尾原秀明

金 腸 尾原秀明

土 腸 尾原秀明

◎印 診療部長 ○印 診療副部長

小児移植(第1,3) 星野 健

Table with 2 columns: 外科種別 (Surgical Specialty) and 担当医師 (Attending Physician). Includes categories like 肝胆臓・移植, 腸, 食道・胃, etc.

開業 (Opening) and 訃報 (Obituary) section. Includes names like 西村 昌幸君 (46回) and 関 惇君 (45回).



編集委員 (Editorial Board) list including 川村 雅文, 石井 良幸, 佐藤 周三, etc.

編集後記 (Editorial Afterword) section. Text discussing the new year and the journal's history.

慶應義塾大学医学部外科学教室同窓会 全員集会(総会)のお知らせ (Keio University Faculty of Medicine Department of Surgery Alumni Association All-Staff Meeting Notice). Includes date (2020年6月20日) and location (オークラプレステージタワー 1F).